

# Image Cabin 概要

Image Cabin は、

画像を、自分の手許で、保持しよう。

ということの実現を目的にしたソフトウェアです

iOS から Image Cabin 用の領域として割り当てられているディスク領域に

ディスク - ディレクトリ - ファイル

という従来の保存方法で、画像をファイルとして保持します。

iPhone のアルバム Image Cabin のディレクトリ

という方向の転送を行う際に、画像を png 形式か、jpeg 形式かのどちらかに変換します。

そして、その変換した、png 形式のファイルか、jpeg 形式のファイルを、Image Cabin のディレクトリ内で保持します。

ディスク - ディレクトリ - ファイル

という形式での保管になりますので、いったん、きちんと、Image Cabin に転送された画像は、なくなったり、壊れたりすることは、ほとんど起きないだろうと思います。

Image Cabin では、

取り扱うことができるファイル数

作成できるディレクトリ数

iPhone のアルバム Image Cabin のディレクトリ 間の転送数

このような数についての制限は設けていません。

ただし、画像を保持するディレクトリの中に、子ディレクトリ(サブディレクトリ)を作成(格納)することはできません。

画像を保持するディレクトリの中に格納できるのはファイルだけです。

行うのであれば、Camera Roll 中のすべての画像を、一気に、転送することも可能です。

ただし、完全に無制限ではありません。

Image Cabin では、

iPhone のアルバム Image Cabin のディレクトリ 間の転送

を行う際に、

転送する画像の名前のリスト

というようなものを形成します。

このリストの形成は、メモリ上で行っています。

そのため、

メモリ上で形成することができる、転送する画像の名前のリストの要素数という制限を受けることになります。

画像そのものは、必要があれば、作業用のディスク領域に退避、保存させます。

そのため、メモリ量の制限は受けず、ディスク量の制限を受けるものになります。

これはメモリ量よりもだいぶ広大なはずで、実質的には、個数制限が発生することはないだろうと考えています。

ともかく、

メモリ上で形成することができる、転送する画像の名前のリストの要素数  
この数の転送は、確実に行えるように作っています。

## 注意点

### 【注意点 1】

今のところ、Image Cabin は、Exif 情報等の画像の付帯情報は、まったく取り扱っていません。  
Image Cabin に画像を転送すると、Exif 情報等の画像の付帯情報は、完全に消失します。

したがって、Exif 情報等の画像の付帯情報が消失しては困るという場合には、その画像は、絶対に、Image Cabin では取り扱わないようにしてください。

### 【注意点 2】

iCloud、Photo Stream を含め、オンラインサーバー上の画像は、まったく取り扱っていません。

### 【注意点 3】

Image Cabin のディレクトリ iPhone のアルバム  
という方向の転送では、iPhone のアルバムに転送する画像は、  
「1つのピクセルのサイズが、32ビット値」の画像  
です。

Image Cabin では、png 形式の画像、jpeg 形式の画像を、  
iPhone のアルバムには置きません。

### 【注意点 4】

動画は扱っていません。

### 【補足説明】

処理はすべて、iPhone の実機上で行います。  
オンラインサーバー上で、画像の変換処理を行うというようなことは、  
まったく行っていません。